

2023年6月25日

「聖霊の導き」

使徒言行録 8:26-40

早川 真牧師

フィリポは、主の天使によってエルサレムからガザへ下る道に行くようにと言われました。ガザという町は、当時滅びており、荒れ果てていて、そこに至る道もまた荒れ果てていました。人間の目から見れば、到底実りがないように思われる土地、しかし、主の命じられることであればそこに本当の実りがあると、聖書は繰り返し私たちに語っています。

私たちは、人生の中である一定の期間、特定の人の手引きを必要とすることがあります。その時は、その人から、多くを教えられ、守られ、導かれます。しかし、それが生涯の間ずっと続くというわけではありません。

神はフィリポを、聖霊によって導き、エチオピアの宦官の下へ遣わされました。異邦人はそもそも、神の選びの民ではありませんでした。そしてその中でも宦官は主の会衆に加わることができないと律法に記されています。しかし、イエス・キリストによる救いに妨げられる者はありません。

神様は私たちが喜びにあふれて自分の道を行けるように日々の中にまるで天使を遣わすように、神の御心を指し示す助け手を遣わして下さいます。それは人であるかもしれないし、物や出来事であるかもしれません。しかし、どんな時も変わらず、私たちを導くお方がおられます。それが聖霊というお方です。目に見える私たちの助け手の背後におられ、私たちに神の御心を手引きし、導いて下さる、それが聖霊の導きです。聖霊は風のように、人や物を動かし、神の御心を実現させます。この聖霊の風と共に、私たちも新しい一週間の歩みへと押し出されていきたいと思えます。